

8月の生ごみ分別収集優良地区を発表します。

優良地区については、配布した容器に一定個数中身が入っていることと、受入施設で処理できないものが入っていないことを基準としています。

月曜日・木曜日コース	火曜日・金曜日コース
歌津地区 ：石泉、樋の口（うしろ田バス停前、樋の口バス停隣、部落会館南先T字路付近）、伊里前災害公営住宅戸建、伊里前小学校入口、枳沢仮設住宅、砂浜仮設住宅 戸倉地区 ：津の宮原団地、折立、横山峠口 志津川地区 ：中瀬町仮設住宅（1・2・3期）、上の山、旧保健センター前、旧JA南三陸本店前	歌津地区 ：石浜地区センター下 志津川地区 ：西田・細浦団地 入谷地区 ：ひころの里北、童子下2期仮設、石ノ平ポンプ場付近、入谷橋付近集積所、志津川小仮設

生ごみの課題について

生ごみの分別収集を開始して1年が経過し、課題も出てきました。

- ・生ごみの分別収集容器の中に施設で処理できないごみがあること
- ・燃やせるごみに混ざっている生ごみが多いこと



主な課題として上記2点になります。生ごみを分別することは時間と手間がかかることですが、燃やせるごみから生ごみを分別すれば、焼却するごみや灰の量も減り、バイオガスや液肥の量も増えます。

一人ひとりの行動により、生ごみもきちんと分ければ資源となります。皆さんのご協力をお願いします。

事業系生ごみの搬入について

10月から南三陸BIO（南三陸町志津川字下保呂毛14番地1号／旧志津川浄化センター）で事業系生ごみの受け付けを開始します。

現在事業系の生ごみの処理は、燃やせるごみとしてクリーンセンターで受け付けていますが、生ごみについては、南三陸BIOに搬入することができます。

直接搬入の際の料金は、50kg（50kg未満は50kgとみなす）あたり103円（税込）です。分別方法については、町ホームページにある南三陸町生ごみの出し方を参考にしてください。

環境対策課からのお知らせ

小さいお子様にも生ごみ分別に関心を持ってもらうために紙芝居を作りました。

紙芝居は、各公共施設や保育所、幼稚園にありますので、ぜひご利用ください。



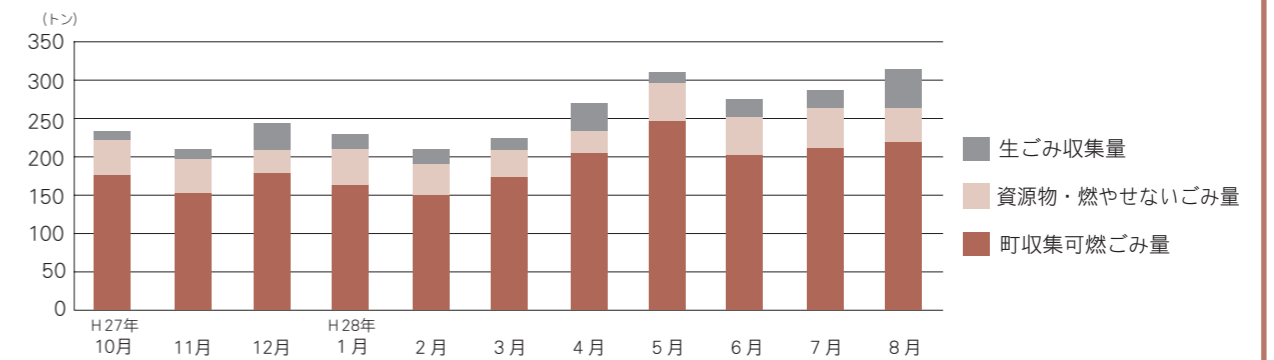
▲紙しばいの表紙

生ごみの分別収集を始めて1年が経過しました

町では、震災復興計画の取り組みの1つエコタウンへの挑戦を具現化するものとしてバイオマス産業都市構想を策定しました。その一環として平成27年10月から生ごみの分別収集を始めています。集積所から収集した生ごみは、受入施設である町が委託したバイオガス施設（南三陸BIO）に搬入され、し尿処理施設から出る汚泥も加えバイオガスと液肥を作っています。発生したバイオガスは施設で使用する熱及び電気となり、液肥は販売し、町内の田畑等で利用されています。

この液肥を使って育った作物が皆さんのご家庭の食卓に並ぶという、ひとつの循環となっています。そこで、分別収集を始めた平成27年10月から平成28年8月までの結果等をお知らせします。

町収集のごみ量について



平成27年10月から平成28年8月までの合計で約218トンの生ごみと約1,748トンの汚泥が資源（エネルギーと液肥）になりました。

同時期に町が収集したごみの量は、約2,825トンであり、そのうち約698トンを主に資源化（生ごみも含む）しています。

しかしながら、収集ごみで最も多い可燃ごみの中には、分別すれば資源になるごみがあります。ごみもひと手間ですべて資源へ変わりますので、ご家庭での分別をお願いします。

生ごみとしての捉え方

南三陸BIOでの処理は、動物が食事をして、排泄するまでの消化の仕組みとよく似ています。皆さんが食べられない（消化できない）ものは、施設でも受け入れることができませんので、生ごみ収集容器に入れずに、燃やせるごみとして出してください。

全体的に見ると異物の混入は低い傾向にありますが、なかなか減らない異物もあります。これからの時期によくある異物としては栗の殻やアワビの殻、くるみの殻等があります。

また、年間を通して卵の殻やビニール袋等が収集容器の中に入っていることがあります。時には、生ごみでもなく、可燃ごみでもない空き缶や包丁が入っていたこともあります。

このような異物は、施設での分別作業にも支障を及ぼすため、生ごみ収集容器には異物のない生ごみを入れてください。



▲分別のされていない容器

左の写真は生ごみの分別収集を始めた頃に撮影した写真です。よくないところは、まず、靴です！次に、生ごみをビニール袋に入れたまま収集容器に入れてあります。袋の中の生ごみだけを収集容器に出しましょう。もちろん、靴もビニール袋も食べられません。食べることができないものは燃やせるごみに出しましょう！

生ごみの受入施設である南三陸BIOでは町民の皆さんを対象に施設見学を受け付けています。皆さんが出した生ごみが実際にどのようにリサイクルされているのか見学してみましょう。

問い合わせ

環境対策課廃棄物対策係 ☎46-5528
 （事業系生ごみの問い合わせ・南三陸BIOの施設見学について）
 南三陸BIO（アマタ株式会社） ☎47-4055